

伊豆シャボテン動物公園

お気に入りのサボテンを選んで、投票しよう
『第7回おもしろサボテン品評会』開催！
展示品は公式オンラインショップ「伊豆シャボテン本舗」にて販売

2020年10月5日
株式会社伊豆シャボテン公園



～ 過去の「おもしろサボテン品評会」の様子 ～

伊豆シャボテン動物公園では、2020年10月10日(土)～11月23日(月)まで、第5温室メキシコ館内において例年好評を博している「第7回おもしろサボテン品評会」を開催いたします。

当品評会では、サボテン、多肉植物を中心とした当園のコレクションの中でも、滅多に公開されない秘蔵の植物や珍奇なサボテンなど約10株を展示します。また会場に投票シールを設置して来園者による人気投票を実施、さらに期間中にSNSにて品評会の生配信を行います。

また、公式オンラインショップ「伊豆シャボテン本舗」にて、品評会に出品しているサボテンを一部販売いたします。実際に大きさ、状態なども確認できるため、みなさまお楽しみにしてください。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部
TEL：0557-51-1115（代）URL：<https://shaboten.co.jp/>
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4

伊豆シャボテン動物公園グループ オンラインショップ //



■第 7 回おもしろサボテン品評会

【開催期間】 2020 年 10 月 10 日(土)～11 月 23 日(月)で

【開催場所】 第 5 温室メキシコ館内

■出展予定の植物

	<p>飛燕雲（ヒエンウン） 学名：<i>Melocactus conoideus</i></p> <hr/> <p>頭の上に載っている赤いトルコ帽子のようなものは花座（セファリウム）といいます。ここから赤い星のような小さな花が咲きます。この帽子のようなものを空に浮かぶ雲に見立てて付いた名前が「飛燕雲」という何ともさわやかな名前！一度見たら忘れられない姿ですが、ヨーロッパ人がアメリカ大陸を発見した時、最初に持ち帰ったのがこのサボテンの仲間といわれています。寒さに弱く、冬越しをさせるのが大変です。</p>
	<p>ジグザグノキ 学名：<i>Decarya madagascariensis</i></p> <hr/> <p>マダガスカル島が故郷！ディディエリア科の一属一種の特異な植物です。名前の通り、ジグザグと枝が伸びた非常に奇妙な姿をしています。これというも、この植物が枝の節で 120 度程度、方向転換して伸びていくという不思議な性質を持っているため。まさに珍植物オブ珍植物！ほとんどジグザグの枝のみですが、成長期には一時的に小さなかわいらしい葉を付けます。耐寒性はやや弱く、冬は 10 度以上の温度が欲しいところ！</p>
	<p>オブツーサ 学名： <i>Haworthiymbiformis var.obtusa(Haworthia cooperi var.truncata)</i></p> <hr/> <p>太陽にこの植物をかざしてみてください！ガラス細工のように光り輝きます。日本名は「雫石（シズクイシ）」！まさに水滴を集めて作ったような植物です。故郷は南アフリカの東ケープ州。体のほとんどが砂や砂礫の中に埋まっていますが、この透明な葉の先を地表に出し、それがレンズのように太陽の光を取り入れて、光合成をするという賢い植物！丈夫で育てやすい植物で、女性にとっても人気があります。</p>
	<p>刈穂玉（カリホギョク） 学名：<i>Raphionacme procumbens</i></p> <hr/> <p>この鮮やかな赤いトゲ！決して色を塗ったものではありません！日の光が強く当たるほど、そして紅葉と同じように昼夜の寒暖の差が大きいほど、トゲは鮮やかな色になります。この鮮やかさを、湿気が多く光の乏しい日本でずっと維持していくのは、実はかなりの至難の業！故郷はメキシコ、カリフォルニア半島、やはり日差しのとても強いところ です。</p>

伊豆シャボテン動物公園

〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1317-13 TEL: 0557-51-1111 (代) URL: <https://izushaboten.com/>

【入園料金】中学生以上 2,400 円、小学生 1,200 円、幼児（4 歳以上）400 円

【営業時間】9:30～17:00（季節により変更があります）